



2022年10月社会保険適用拡大に関する調査 【詳細版】



関連レポート：2022年10月社会保険適用拡大に関する調査【速報版】
https://jbrc.recruit.co.jp/data/data20220928_2397.html

はじめに

2022年10月より社会保険の適用範囲が拡大されました。今回の調査は、特に影響の大きいアルバイト・パートとして働く女性を対象に、2022年8月に実施しました。

■ 法改正の概要

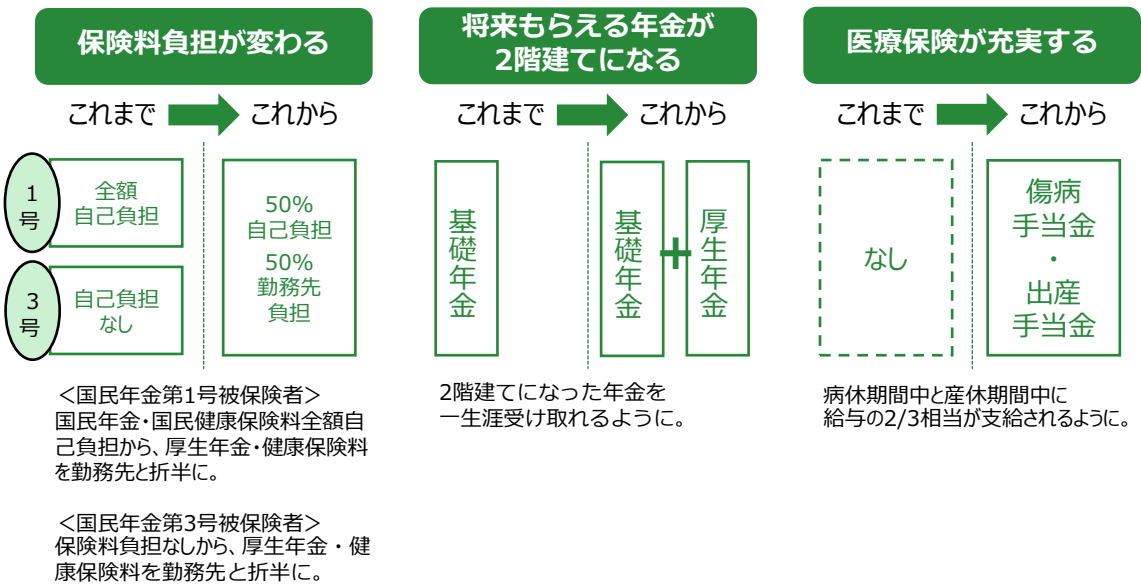
これまで従業員規模501人以上、雇用見込み期間1年以上だったところから、2022年10月に101人以上と2か月超えを対象に拡大されました。2年後の2024年10月には、従業員規模51人以上にさらに拡大される予定です。

※本調査は、2024年の法改正を見越して、500人以下で働く方を対象としています（今回の適用拡大範囲の対象でない方も含む）。

	2022年10月以降	2024年10月以降
従業員（※2）規模	501人以上	101人以上 51人以上
雇用期間	1年以上見込み	2か月超見込み
週の所定労働時間	20時間以上	
月額賃金	8.8万円以上	
属性	学生ではない	

※2 社会保険加入となる被保険者数

■ 社会保険加入による影響



【参考】法改正の対象となる保険料負担

	住民税	所得税	社会保険料 (厚生年金・健康保険)
100万円超103万円以下	支払う	支払わない	支払わない
103万円超106万円以下		支払う	一定条件を満たすと支払う
106万円超130万円未満			
130万円以上			支払う

106万円：月額8.8万円×12か月＝105.6万円

今回の対象となる
保険料負担

調査概要

	2022年10月社会保険適用拡大に関する調査
調査目的	社会保険の法改正によるアルバイト・パートで働く女性の働き方の変化を明らかにする
調査手法	インターネット調査
対象者条件	・ 全国 20～59歳の女性 ・ 国民年金の第1号もしくは第3号被保険者 ・ 従業員数500人以下の企業で勤務 ・ 現在の職業がアルバイト・パート ※上記条件のため、今回の適用拡大対象でない方も含む
調査期間	2022年8月23日（火）～8月26日（金）
有効回答数	1,113人

※グラフと数表は、集計結果の小数点以下第2位を四捨五入して表示している。

※ 一部、回答数が30に満たない分析軸があるが、参考値として掲載している。

言葉の定義

- 本レポート内における「社会保険」は「厚生年金保険・健康保険」を意味している。
- 「国民年金種別」は、国民年金第1号被保険者と第3号被保険者（扶養）を区分した。分布は回答者プロフィールを参照。（P27）
- 「年収別」は、回答者の税込年収を社会保険の扶養基準となる「130万円」を基準に区分した。分布は回答者プロフィールを参照。（P27）
- 「勤務時間別」は、実際の勤務時間よりも理想の勤務時間が長い人を「実際＜理想」と表記している。「それ以外」は実際の勤務時間と理想の勤務時間が同じ、もしくは理想の勤務時間の方が短い人を指している。「Part4 現在の働き方と理想の働き方 1. 契約上／実際／理想の勤務時間」を参照。（P17）

はじめに	1～2
目次	3

調査結果から得られるポイント	4
----------------	---

Part1 社会保険適用拡大の認知状況

1. 社会保険適用拡大の認知状況	5
2. 社会保険適用拡大の認知経路	6
3. 社会保険適用拡大の影響の認知	7
4. 自身が適用拡大の対象かの認知	8

Part2 勤務先からの説明状況

1. 勤務先からの説明の有無	9
2. 勤務先からの説明の有無【詳細】	10
3. 勤務先に求める説明内容	11
4. 勤務先に求める説明内容と勤務先からの説明内容	12

Part3 社会保険への加入意向

1. 社会保険への加入意向	13
2. 社会保険加入意向の理由	14
3. 社会保険に加入できない場合の転職意向	15
4. 国民年金第1号被保険者の誤解の可能性	16

Part4 現在の働き方と理想の働き方

1. 契約上／実際／理想の勤務時間	17
2. もっと働きたい人の社会保険加入意向	18
3. もっと働きたい人の社会保険加入意向の理由	19
4. 仕事選びの重視点	20
5. 現在の勤務時間を選んでいる理由	21

Part5 自己認識と対象可能性

1. 自己認識と対象可能性の関係性	22
2. 社会保険適用拡大の認知状況	23
3. 自身が適用拡大の対象かの認知	24
4. 勤務先からの説明の方法とその有無	25
5. 社会保険への加入意向	26

調査を踏まえて	27
回答者プロフィール	27

● 社会保険適用拡大の認知は高い

調査時点（8月下旬時点）での社会保険適用拡大の認知は、「知らない」59.2%が「知っている」40.8%を上回った。「知っている」の中でも「内容を詳しく知っている」は8.4%にとどまり少数であることが分かる（P5）。

社会保険は、今後の働き方、現在の家計、将来もらえる年金など、生活に与える影響は大きいにもかかわらず、全員が理解し選択するという状況にはまだない。2年後の2024年10月にはさらに51人以上の企業まで適用範囲が拡大する。個人が社会保険について正しく理解することはもちろんだが、勤務先と従業員が会話することで、今後の働き方を考えるきっかけとしていただきたい。

● 社会保険加入と就業に対する意識

① 国民年金第1号被保険者の約半数が保険料負担について、知らない・誤解している可能性が高い

国民年金・国民健康保険料を全額自己負担している第1号被保険者は、社会保険に加入することで、厚生年金・健康保険料を勤務先と折半することになる（P1）。国民年金は一律定額（毎年度変更/2022年度16,590円）であり、国民健康保険料は個人の前年度の年収額や市区町村に応じて異なるものの、社会保険に加入した場合の方が保険料負担が軽くなる可能性がある。しかしながら、社会保険に加入しない理由として「手取り収入が減少するから」（自身で保険料を納めて）加入するメリットが分からないから」と回答、もしくは、社会保険加入の影響について「保険料負担が変わる」ことを「知らない」と回答した人、つまり保険料負担について知らない・誤解している可能性が高い人は、第1号被保険者のうち52.2%にのぼった（P16）。

② もっと働きたい女性の中にも労働時間を短縮する就業調整意向のある人が一定数存在する

実際の勤務時間と理想の勤務時間を質問したところ、理想の勤務時間の方が長い（もっと長い時間働きたい）人は全体で30.5%存在した（P17）。「もっと働きたい」と考えているにもかかわらず、うち18.5%の人が「加入しないよう、所定労働時間を短縮する」と回答した（P18）。その理由で最も多かったのは「手取りが減るから」であった。

③ 勤務先に求める説明の内容は「手取りが減らない労働時間数」

今回の社会保険適用拡大について、勤務先から説明があった人に絞ると、「手取りが減らない労働時間数」について42.7%の人が説明を求めているのに対し、実際説明を受けたのは23.8%と、他項目と比較して一番大きな18.9ポイントの差があった（P12）。

全体では、勤務先に求める説明内容について、「保険料負担が変わること」37.1%、「手取りが減らない労働時間数」35.4%、「厚生年金・健康保険加入後の具体的な保険料」29.6%に対して、加入メリットである「将来もらえる年金が増えること」「医療保険が充実すること」を求めるのは全体の2割前後で関心が高いとは言えない（P11）。

従業員が「手取りが減らない労働時間数」の説明を求めている背景には、労働時間を増やすことで手取りが減らないのであれば、社会保険に加入することを検討したい（してもいい）という意向があるのではないだろうか。どれくらい労働時間数を増やせば手取りは減らないのか、それは今の働き方からどれくらい変わるのか、このあたりを従業員と会話することができれば、本人がより納得感を持って、加入する・しないの方向性を決められるだろう。

以上から、勤務先の皆様には、従業員の中に1号と3号（扶養内勤務）が混在すること、1号の中には保険料負担について知らない・誤解している可能性があること、また、現在は色々な制約があり短時間の勤務だが、「もっと働きたい」と考えている従業員が存在することを踏まえて、今後の働き方を一緒に検討する時間を持っていただきたい。

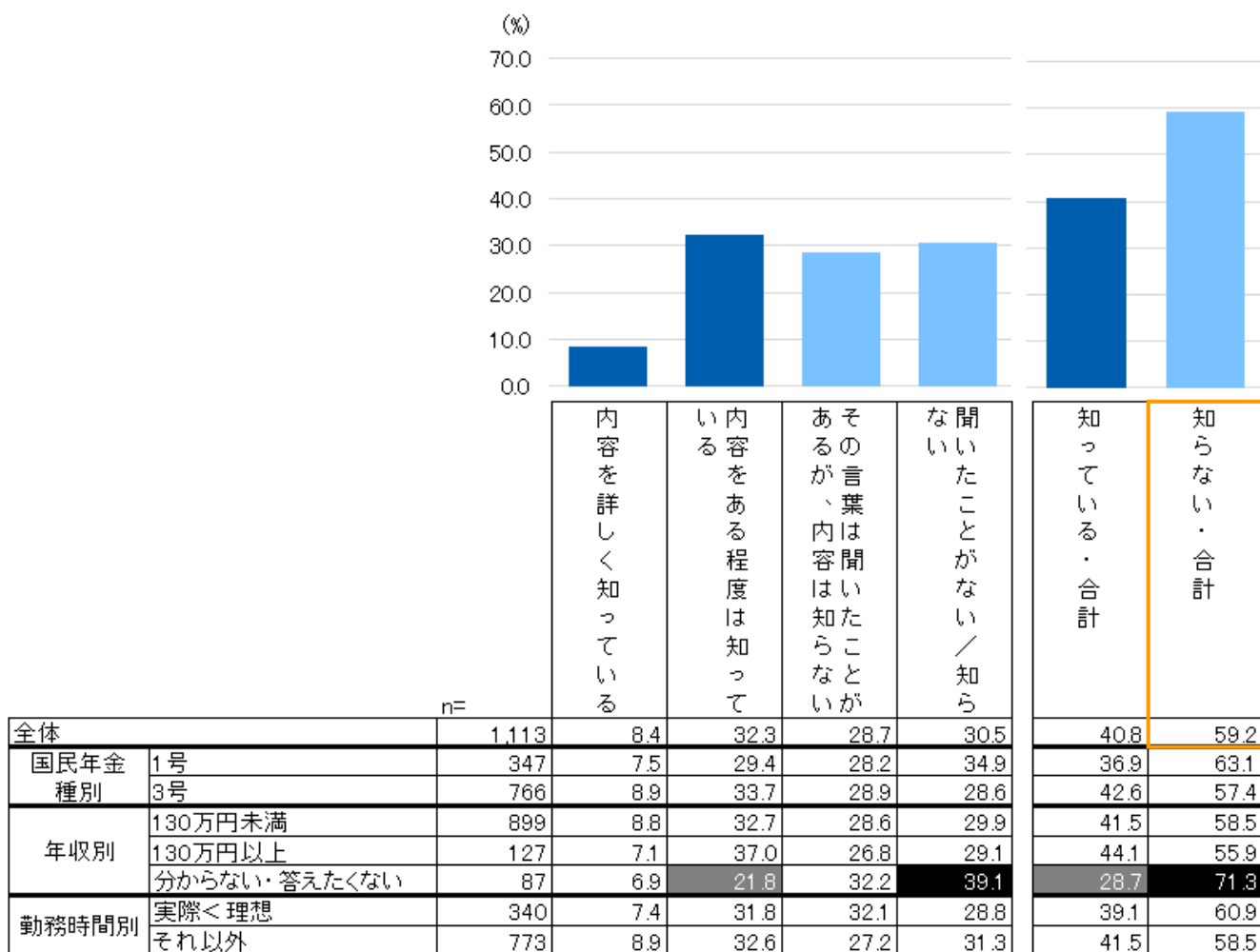
※今回の適用対象可能性が高い人に絞った調査結果は、Part5（P22～26）にまとめて記載している。

1. 社会保険適用拡大の認知状況

- 調査時点（8月下旬時点）での法改正の認知は、「知らない」59.2%が「知っている」40.8%を上回った。「知っている」の中でも「内容を詳しく知っている」は8.4%にとどまり少数であることが分かる。
- 国民年金種別で見ると、ともに「内容を詳しく知っている」は1割以下、「知らない」が6割前後で大きな差はないが、1号は「聞いたことがない／知らない」34.9%、3号は「内容をある程度は知っている」33.7%が最も多い。

Q. 2022年10月に社会保険（厚生年金・健康保険）の加入範囲が拡大されることを知っていますか。（単一回答）

【対象者：全員】

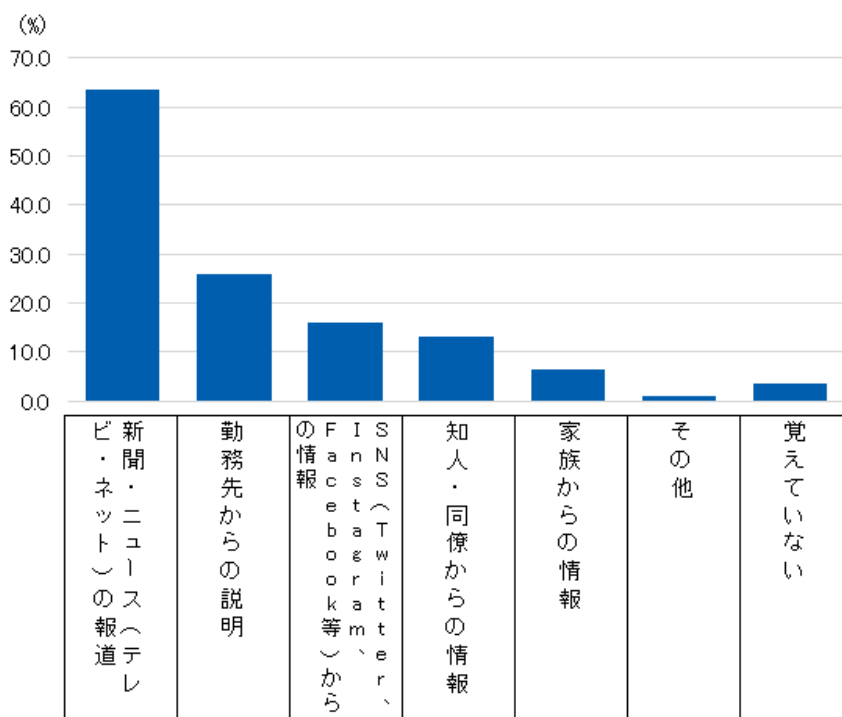


2. 社会保険適用拡大の認知経路

- 社会保険適用拡大について「知っている」と回答した人の認知経路は「新聞・ニュース（テレビ・ネット）の報道」63.4%が最も多く、次いで「勤務先からの説明」26.0%、「SNS（Twitter,Instagram,Facebook等）からの情報」16.1%と続いた。
- 国民年金種別では、特に1号の「勤務先からの説明」割合が少なく、3号と比較して9ポイントの差がある。

Q. 2022年10月に社会保険（厚生年金・健康保険）の加入範囲が拡大することについて、何を通じて知りましたか。（複数回答）

【対象者：法改正について「内容を詳しく知っている」「内容をある程度は知っている」と回答した人】



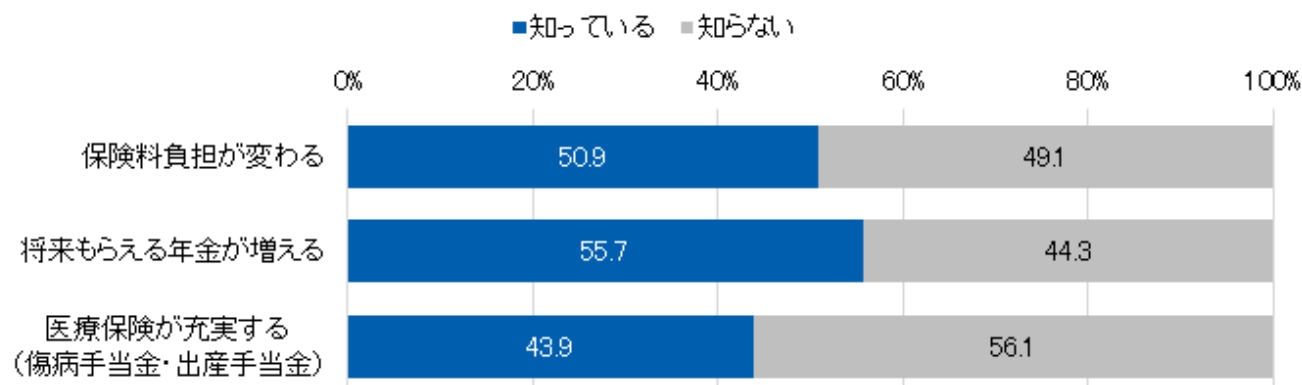
		n=	新聞・ニュース（テレビ・ネット）の報道	勤務先からの説明	SNS（Twitter, Instagram, Facebook等）からの情報	知人・同僚からの情報	家族からの情報	その他	覚えていない
■全体		454	63.4	26.0	16.1	13.2	6.4	0.9	3.5
国民年金種別	1号	128	60.2	19.5	18.8	13.3	9.4	0.8	4.7
	3号	326	64.7	28.5	15.0	13.2	5.2	0.9	3.1
年収別	130万円未満	373	63.5	26.8	16.6	13.1	6.2	1.1	2.7
	130万円以上	56	66.1	23.2	14.3	16.1	10.7	0.0	3.6
	分からない・答えたくない	25	56.0	20.0	12.0	8.0	0.0	0.0	16.0
勤務時間別	実際＜理想	133	69.2	24.1	18.0	9.8	8.3	1.5	3.8
	それ以外	321	61.1	26.8	15.3	14.6	5.6	0.6	3.4

3. 社会保険適用拡大の影響の認知

- 社会保険適用拡大の主な影響3つ（P1参照）について聞いたところ、「知っている」と回答したのは、「保険料負担が変わる」50.9%、「将来もらえる年金が増える」55.7%、「医療保険が充実する（傷病手当金・出産手当金）」43.9%であり、医療保険の充実については、他2つよりも認知が低い。
- 国民年金種別で見ると、「保険料負担が変わる」と「医療保険が充実する」は同程度だが、「将来もらえる年金が増える」について1号は「知っている」が50.1%と3号よりも約8ポイント少ない。

Q. 社会保険（厚生年金・健康保険）に加入することになったときの影響について知っていますか。（単一回答）

【対象者：全員】



			n=	知っている	知らない
保険料負担が変わる	全体		1,113	50.9	49.1
	国民年金種別	1号	347	52.7	47.3
		3号	766	50.1	49.9
	年収別	130万円未満	899	51.1	48.9
		130万円以上	127	53.5	46.5
		分からない・答えたくない	87	46.0	54.0
	勤務時間別	実際<理想	340	52.9	47.1
		それ以外	773	50.1	49.9
将来もらえる年金が増える	全体		1,113	55.7	44.3
	国民年金種別	1号	347	50.1	49.9
		3号	766	58.2	41.8
	年収別	130万円未満	899	56.7	43.3
		130万円以上	127	51.2	48.8
		分からない・答えたくない	87	51.7	48.3
	勤務時間別	実際<理想	340	57.6	42.4
		それ以外	773	54.9	45.1
医療保険が充実する (傷病手当金・出産手当金)	全体		1,113	43.9	56.1
	国民年金種別	1号	347	44.1	55.9
		3号	766	43.9	56.1
	年収別	130万円未満	899	42.7	57.3
		130万円以上	127	51.2	48.8
		分からない・答えたくない	87	46.0	54.0
	勤務時間別	実際<理想	340	42.4	57.6
		それ以外	773	44.6	55.4

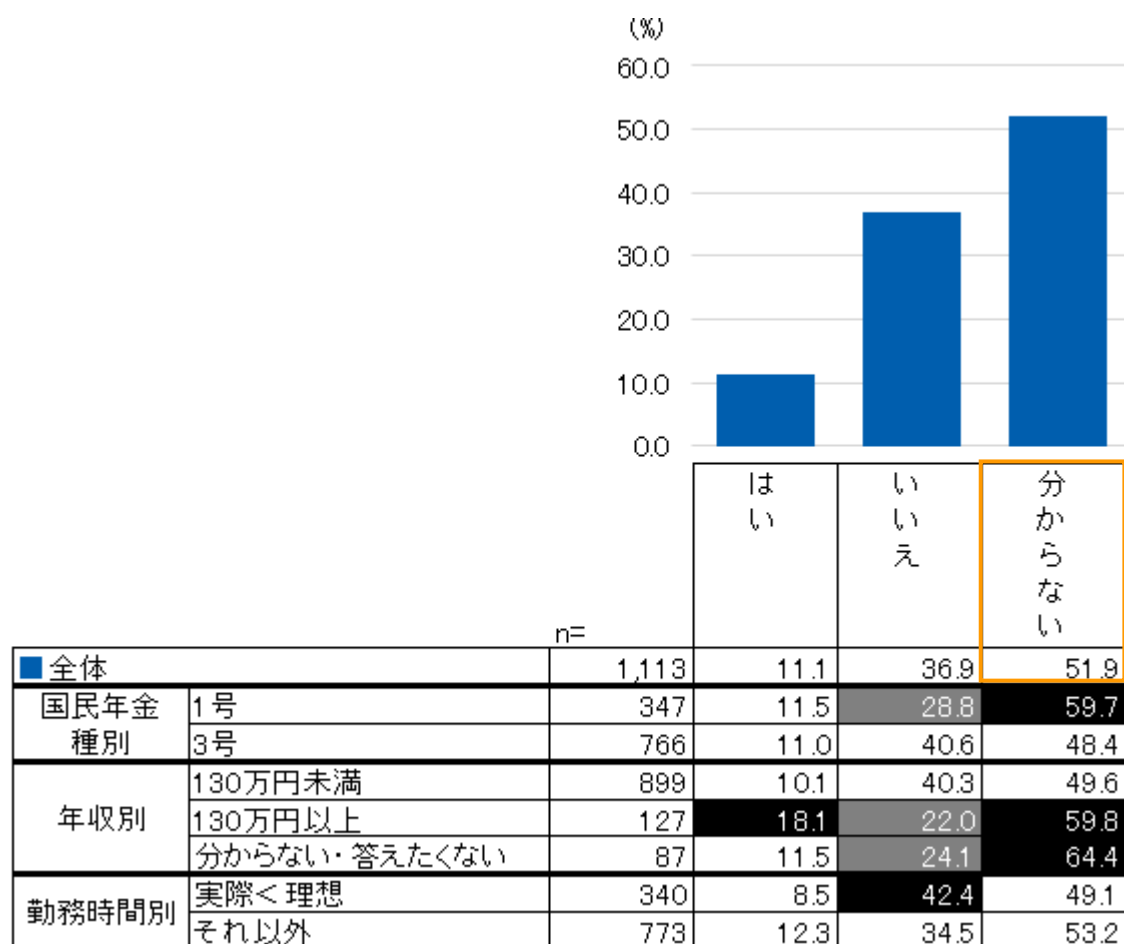
反転シロスキ …全体の数値より5ポイント以上大きい 灰色シロスキ …全体の数値より5ポイント以上小さい

4. 自身が適用拡大の対象かの認知

- 自身が今回の適用拡大の対象かを聞くと、調査時点（8月下旬時点）では「分からない」が51.9%で半数を占めた。特に、国民年金種別では1号は59.7%、年収別では130万円以上が59.8%、分からない・答えたくないと回答した人は64.4%が「分からない」とし全体よりも多い。
- 2年後の2024年にはさらに対象が拡大される。自身がどのような働き方をすれば社会保険が適用されるのか、個人が把握しておくことが今後の働き方を検討する上で重要であろう。

Q.あなたは今回の社会保険加入拡大の対象ですか。（単一回答）

【対象者：全員】

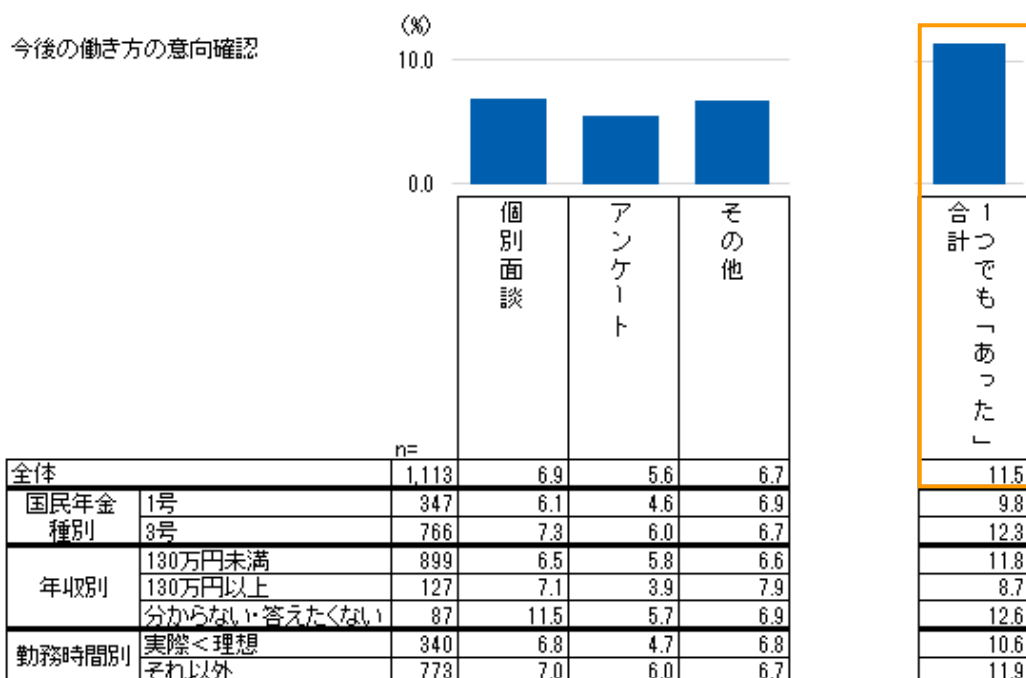
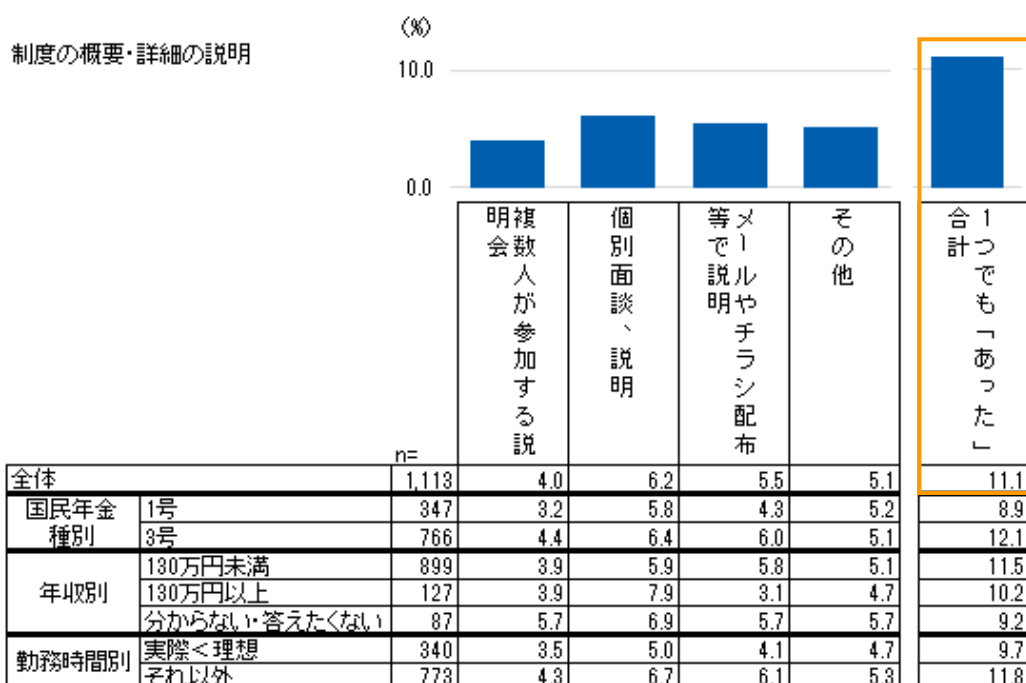


1. 勤務先からの説明の有無

- 調査時点（8月下旬時点）で、勤務先からの説明があったのは、「制度の概要・詳細の説明」「今後の働き方の意向確認」ともにどちらも約1割程度であった。
- 本調査には2022年10月適用拡大の対象でない人も多く含まれるため、留意が必要。適用拡大の対象可能性が高い人に絞った結果は、P25に記載している。

Q. 今回の社会保険加入拡大について、勤務先から説明・意向確認の方法とその有無について教えてください。（単一回答）

【対象者：全員】※「あった」のみを抜粋して掲載している。その他の回答を含めた詳細は次ページに記載。



2. 勤務先からの説明の有無【詳細】

- 勤務先からの説明の中でも、「制度の概要・詳細の説明」「今後の働き方の意向確認」とともに「個別面談」で実施されているケースが多い。社会保険の加入については、一方的な説明だけでなく、従業員の希望を問うことが重要であるため、個別面談の実施がベストではないだろうか。

Q. 今回の社会保険加入拡大について、勤務先から説明・意向確認の方法とその有無について教えてください。(単一回答)

【対象者：全員】

制度の概要・詳細の説明		n=	会加複 す数 る人 説が 明参			説個 明別 面談、			でラメ 説シ 明配ル 布や 等チ			そ の 他			1 つ で も 「あ っ た」 ・ 合 計	1 つ も 「な か っ た」 ・ 合 計
			あ っ た	な か っ た	い ま だ 、 実 施 後 さ れ て 予 い 定 な	あ っ た	な か っ た	い ま だ 、 実 施 後 さ れ て 予 い 定 な	あ っ た	な か っ た	い ま だ 、 実 施 後 さ れ て 予 い 定 な	あ っ た	な か っ た	い ま だ 、 実 施 後 さ れ て 予 い 定 な		
全体		1,113	4.0	86.6	9.3	6.2	86.4	7.4	5.5	88.3	6.2	5.1	88.4	6.5	11.1	77.9
国民年金 種別	1号	347	3.2	86.5	10.4	5.8	86.2	8.1	4.3	89.6	6.1	5.2	88.5	6.3	8.9	78.7
	3号	766	4.4	86.7	8.9	6.4	86.6	7.0	6.0	87.7	6.3	5.1	88.4	6.5	12.1	77.5
年収別	130万円未満	899	3.9	87.4	8.7	5.9	87.0	7.1	5.8	88.1	6.1	5.1	88.5	6.3	11.5	78.3
	130万円以上	127	3.9	81.9	14.2	7.9	82.7	9.4	3.1	88.2	8.7	4.7	86.6	8.7	10.2	73.2
	分からない・答えたくない	87	5.7	85.1	9.2	6.9	86.2	6.9	5.7	90.8	3.4	5.7	89.7	4.6	9.2	80.5
勤務時間別	実際<理想	340	3.5	88.5	7.9	5.0	88.8	6.2	4.1	89.7	6.2	4.7	89.1	6.2	9.7	80.3
	それ以外	773	4.3	85.8	10.0	6.7	85.4	7.9	6.1	87.7	6.2	5.3	88.1	6.6	11.8	76.8

今後の働き方の意向確認

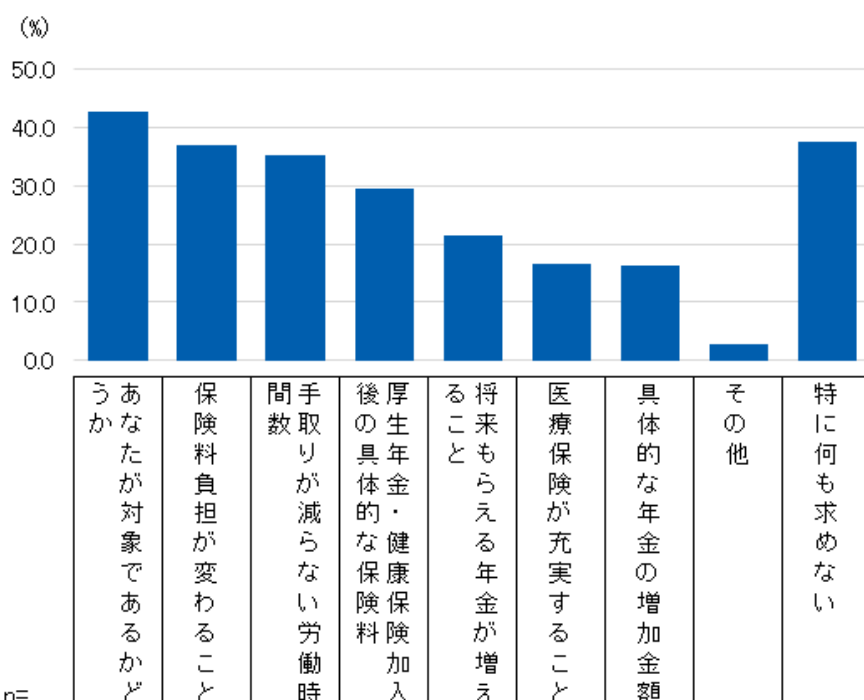
		n=	個 別 面 談			ア ン ケ ー ト			そ の 他			1 つ で も 「あ っ た」 ・ 合 計		1 つ も 「な か っ た」 ・ 合 計	
			あ っ た	な か っ た	い ま だ 、 実 施 後 さ れ て 予 い 定 な	あ っ た	な か っ た	い ま だ 、 実 施 後 さ れ て 予 い 定 な	あ っ た	な か っ た	い ま だ 、 実 施 後 さ れ て 予 い 定 な				
全体		1,113	6.9	85.3	7.8	5.6	88.1	6.4	6.7	86.2	7.1	11.5	80.6		
国民年金 種別	1号	347	6.1	86.2	7.8	4.6	89.0	6.3	6.9	86.5	6.6	9.8	81.8		
	3号	766	7.3	84.9	7.8	6.0	87.6	6.4	6.7	86.0	7.3	12.3	80.0		
年収別	130万円未満	899	6.5	85.8	7.8	5.8	87.9	6.3	6.6	86.3	7.1	11.8	80.5		
	130万円以上	127	7.1	83.5	9.4	3.9	88.2	7.9	7.9	85.0	7.1	8.7	81.1		
	分からない・答えたくない	87	11.5	82.8	5.7	5.7	89.7	4.6	6.9	86.2	6.9	12.6	80.5		
勤務時間別	実際<理想	340	6.8	85.6	7.6	4.7	89.4	5.9	6.8	87.4	5.9	10.6	82.1		
	それ以外	773	7.0	85.1	7.9	6.0	87.5	6.6	6.7	85.6	7.6	11.9	79.9		

3. 勤務先に求める説明内容

- 勤務先に求める説明内容について、全体では「あなたが対象であるかどうか」42.6%が最も多く、次いで「保険料負担が変わること」37.1%、「手取りが減らない労働時間数」35.4%と続いた。
- 勤務先に求める説明内容について、加入メリットである「将来もらえる年金が増えること」「医療保険が充実すること」を求めるのは全体の2割前後で、関心が高くない様子が見えられた。
- 「特に何も求めない」と回答した人のうち、9割が自身が対象であるかの認知について「いいえ」「分からない」と回答した人であった（下図には記載なし）。

Q. 今回の社会保険加入拡大に関する内容について、当てはまるものをお選びください。（複数回答）

【対象者：全員】※「勤務先に求める説明の内容」に対する回答を抜粋して掲載している。



		n=	あなたが対象であるかどうか	保険料負担が変わること	間手取りが減らない労働時間数	後の厚生年金・健康保険料加入	将来もらえる年金が増えること	医療保険が充実すること	具体的な年金の増加分額	その他	特に何も求めない
■全体		1,113	42.6	37.1	35.4	29.6	21.6	16.4	16.2	2.8	37.6
国民年金種別	1号	347	41.5	40.9	30.3	30.3	21.0	17.3	15.6	2.6	39.5
	3号	766	43.1	35.4	37.7	29.2	21.8	16.1	16.4	2.9	36.7
年収別	130万円未満	899	42.7	35.4	34.8	28.5	20.7	15.4	15.5	2.1	38.0
	130万円以上	127	44.1	49.6	36.2	38.6	26.0	22.8	19.7	7.1	31.5
	分からない・答えたくない	87	39.1	36.8	40.2	27.6	24.1	18.4	18.4	3.4	41.4
勤務時間別	実際<理想	340	41.2	36.8	37.9	29.4	24.1	17.9	18.8	2.4	39.7
	それ以外	773	43.2	37.3	34.3	29.6	20.4	15.8	15.0	3.0	36.6

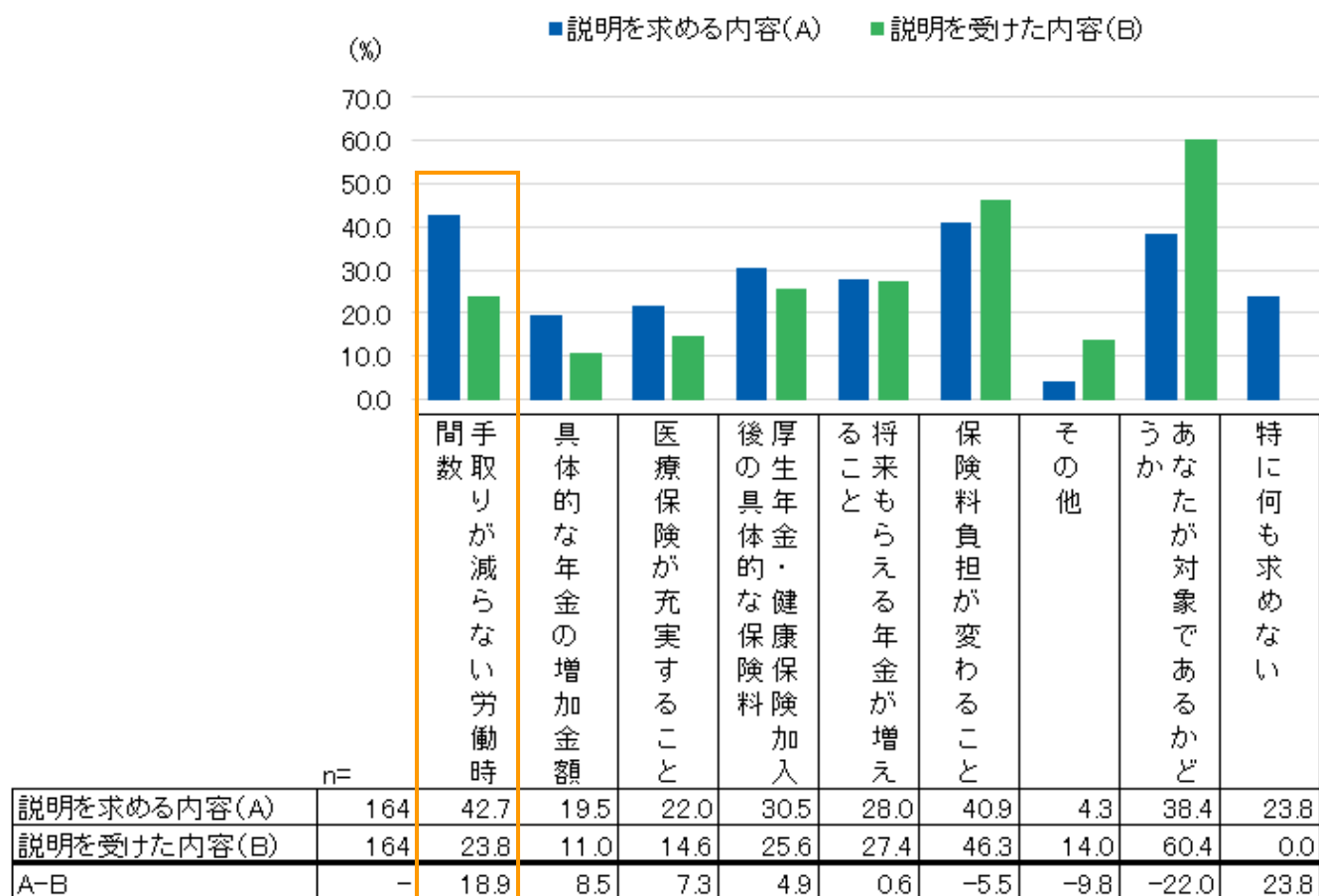
4. 勤務先に求める説明内容と勤務先からの説明内容

- 勤務先から説明を受けた人のみに絞ると、「手取りが減らない労働時間数」について42.7%の人が求めているのに対し、実際説明を受けたのは23.8%と18.9ポイントの差があった。

Q. 今回の社会保険加入拡大に関する内容について、当てはまるものをお選びください。（複数回答）

【対象者：勤務先から説明を受けた人のみ】

※グラフはA-B順に降順ソートしている

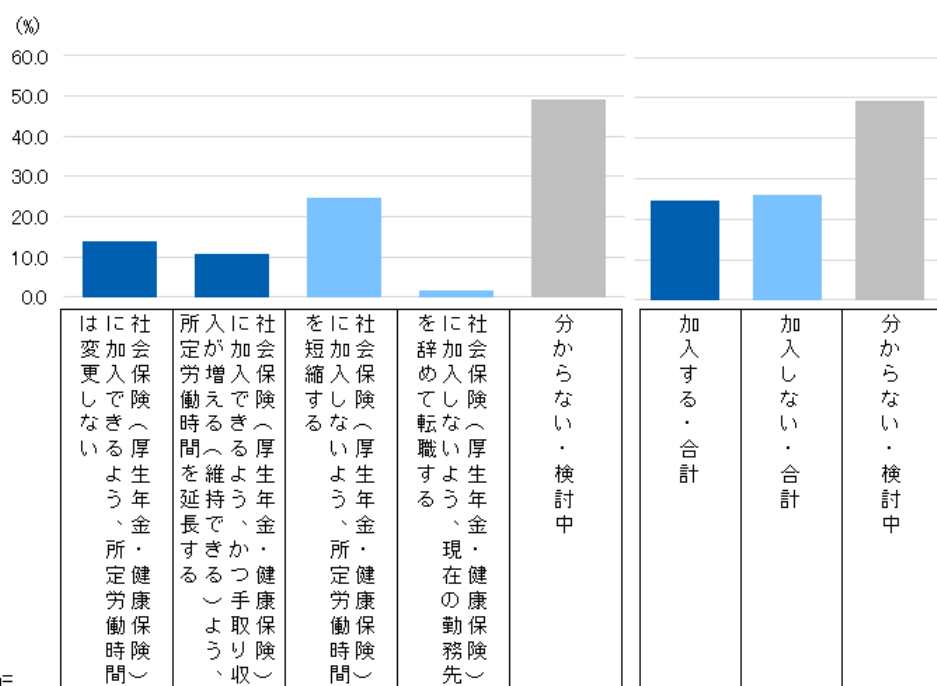


1. 社会保険への加入意向

- 社会保険への加入意向を聞くと、全体のうち、半数程度は「分からない・検討中」ではあるものの、残り半数は「加入する」24.6%と「加入しない」26.1%が同程度となった。
- 現在の年収別に見ると、130 万円以上では「加入しない」が7.9%であるのに対し、130 万円未満では29.9%と差があった。社会保険の扶養の基準となる「年収 130 万円未満」、いわゆる「130万円の壁」を意識していることがうかがえる。

Q. 今回の社会保険加入拡大について、あなたの考えに近いものを教えてください。今回、加入拡大の対象でない方も、対象だった場合の考えをお答えください。（単一回答）

【対象者：全員】



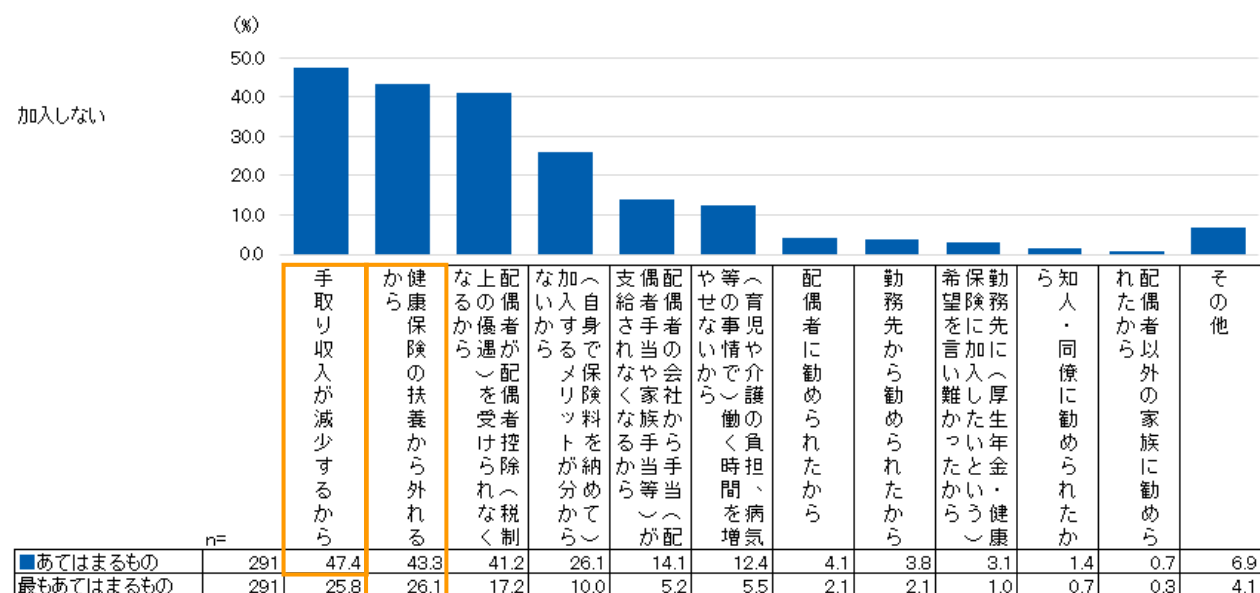
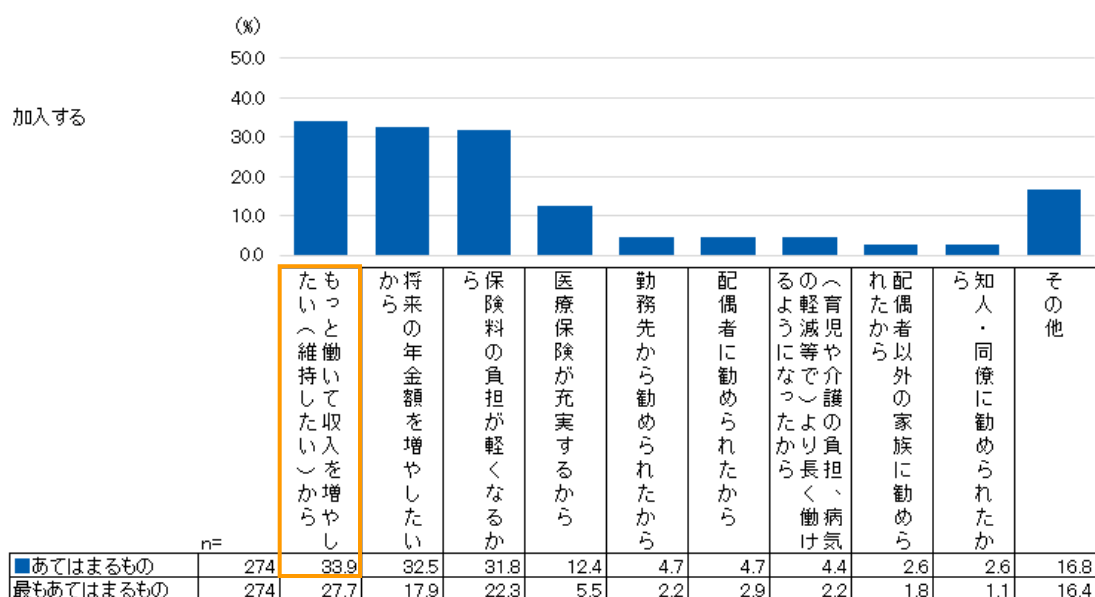
	n=	は変更にできない	社会保険へ加入できる	所定労働時間を超える	社会保険へ加入できない	を短縮する	社会保険へ加入しない	を辞めて転職する	社会保険へ加入しない	分からない・検討中	加入する・合計	加入しない・合計	分からない・検討中
■全体	1,113	13.9	10.7	24.6	1.5	49.2	24.6	26.1	49.2				
国民年金種別													
1号	347	15.6	15.3	13.3	1.4	54.5	30.8	14.7	54.5				
3号	766	13.2	8.6	29.8	1.6	46.9	21.8	31.3	46.9				
年収別													
130万円未満	899	13.0	9.6	28.6	1.3	47.5	22.6	29.9	47.5				
130万円以上	127	20.5	21.3	5.5	2.4	50.4	41.7	7.9	50.4				
分からない・答えたくない	87	13.8	6.9	11.5	2.3	65.5	20.7	13.8	65.5				
勤務時間別													
実際に理想	340	10.6	15.0	18.5	2.4	53.5	25.6	20.9	53.5				
それ以外	773	15.4	8.8	27.3	1.2	47.3	24.2	28.5	47.3				

2. 社会保険加入意向の理由

- 加入する理由は「もっと働いて収入を増やしたい（維持したい）から」33.9%が最も多く（下図上）、加入しない理由は「手取り収入が減少するから」47.4%が最も多かった（下図下）。
- 最もあてはまるものでは、加入しない理由は「健康保険の扶養から外れるから」26.1%が最も多く、前述した「130万円の壁」を意識していることが分かる。

Q.社会保険への加入意向の理由についてあてはまるものを教えてください。そのうち最もあてはまるものを1つ選んでください。（複数回答／単一回答）

【対象者：全員のうち「加入する」「加入しない」のみ抜粋】

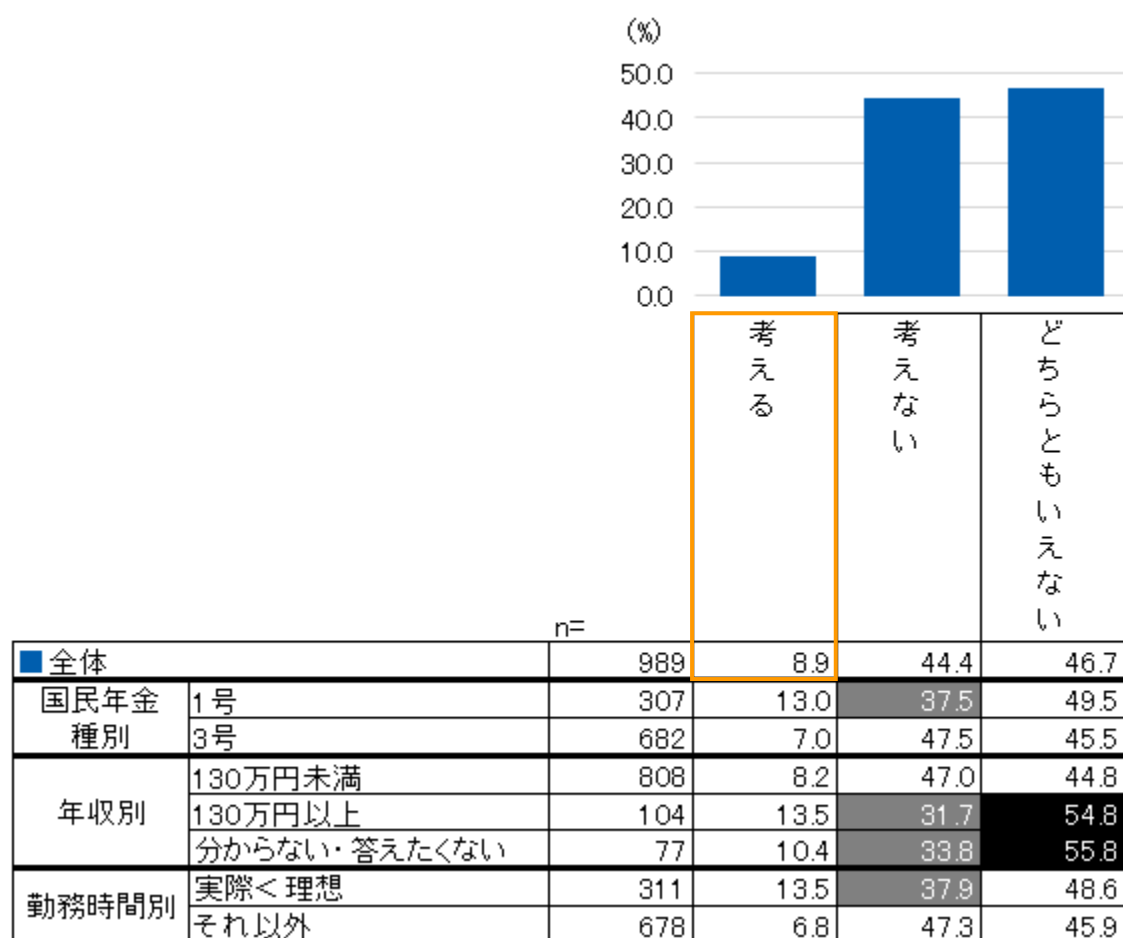


3. 社会保険に加入できない場合の転職意向

- 社会保険に加入できないことで、加入できる会社への転職を考える人は全体で8.9%であった。多くはないものの、社会保険に加入できないことで従業員の退職リスクが上がる可能性がある。

Q.現在の勤務先で社会保険（厚生年金・健康保険）に加入できない場合、加入できる会社への転職を考えますか。（単一回答）

【対象者：今回の適用拡大の対象ではない/分からないと回答した人】

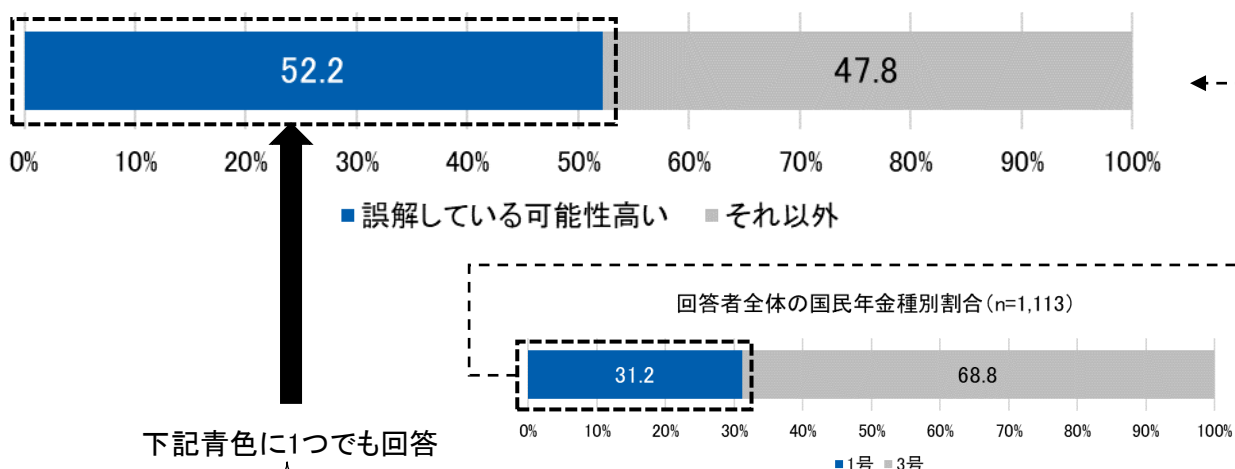


4. 国民年金第1号被保険者の誤解の可能性

現在、国民年金第1号被保険者である人は、社会保険に加入した場合の方が保険料負担が軽くなる可能性がある（P1・P4）。社会保険への加入＝保険料負担が増加する、と誤解している可能性のある第1号被保険者の割合を本ページでは確認したい。下記に回答している人は、誤った理解をしている可能性が高く、その割合は第1号被保険者の52.2%であった。

- 社会保険に加入する影響として、「保険料負担が変わる」を「知らない」と回答している（下記①）。
- 社会保険に加入しない理由として、「手取り収入が減少するから」「（自身で保険料を納めて）加入するメリットが分からないから」を選択している（下記②）。

国民年金第1号被保険者 (n=347)

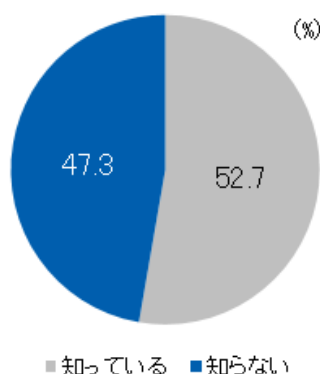


① (P7参照)

Q. 社会保険（厚生年金・健康保険）に加入することになったときの影響について知っていますか。（単一回答）

n=347（国民年金第1号被保険者）

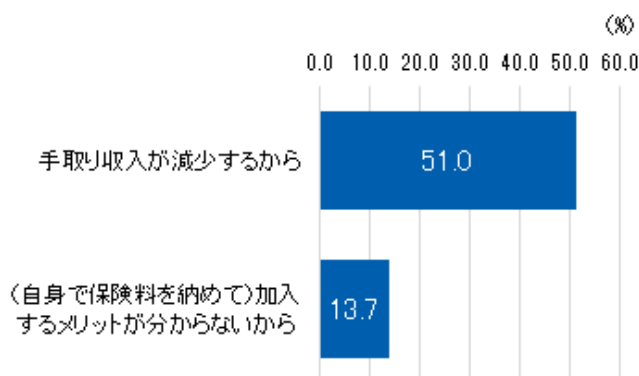
【保険料負担が変わる】



② (P14参照)

Q. 社会保険への加入意向について理由についてあてはまるものを教えてください。（複数回答）

n=51（国民年金第1号被保険者のうち社会保険に「加入しない」と回答）

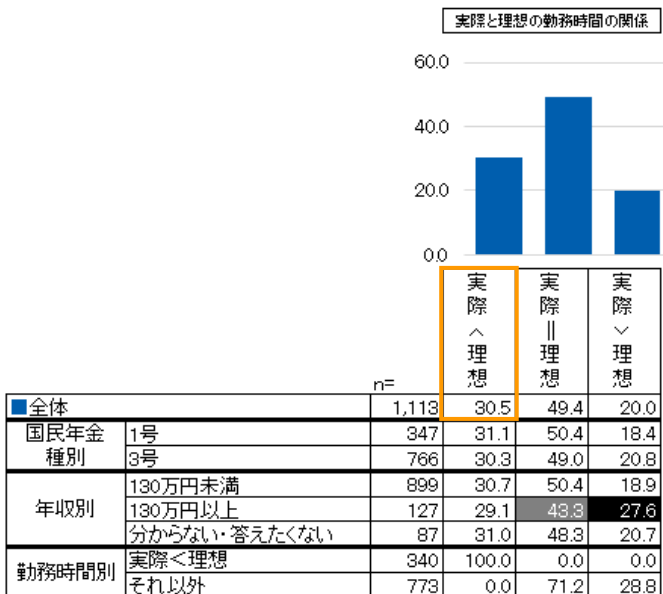
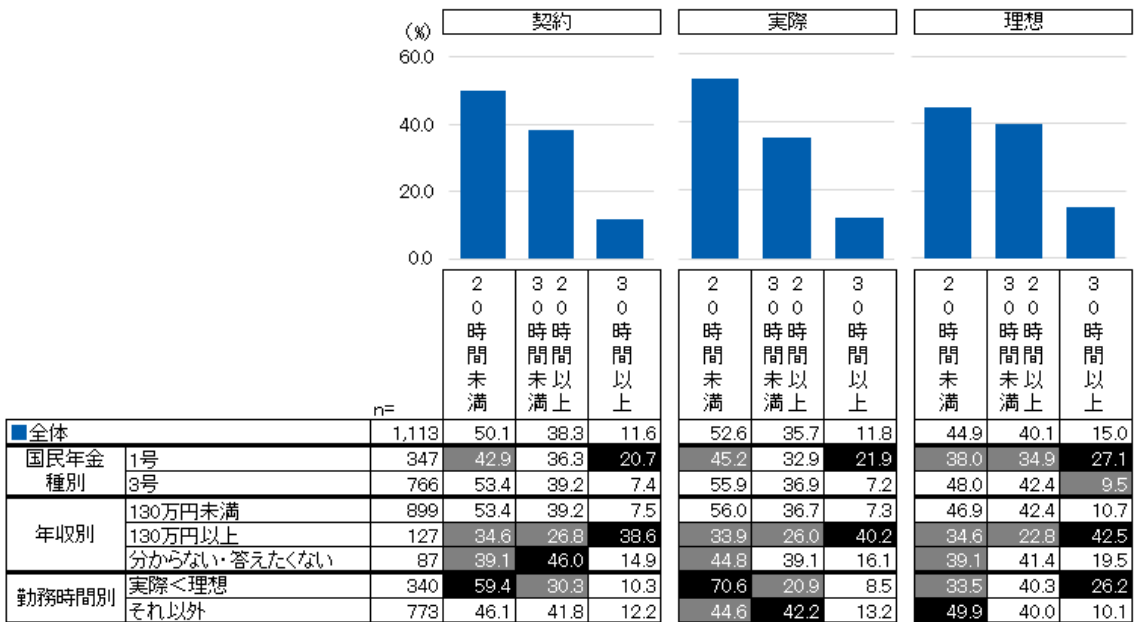


1. 契約上／実際／理想の勤務時間

- 実際の勤務時間よりも理想の勤務時間が長い人を「実際＜理想」、同じ人を「実際＝理想」、理想の勤務時間の方が短い人を「実際＞理想」と表記している。
- 実際の勤務時間では「20時間未満」が過半数を占める。理想の勤務時間では「20時間未満」の割合が減少し、「20時間以上30時間未満」「30時間以上」の割合が増加。
- 実際と理想の勤務時間を比べると、理想の勤務時間の方が長い人は全体の30.5%であった。

Q.現在の契約上／実際／理想の勤務時間（1週間あたり）を教えてください。（数値回答）

【対象者：全員】

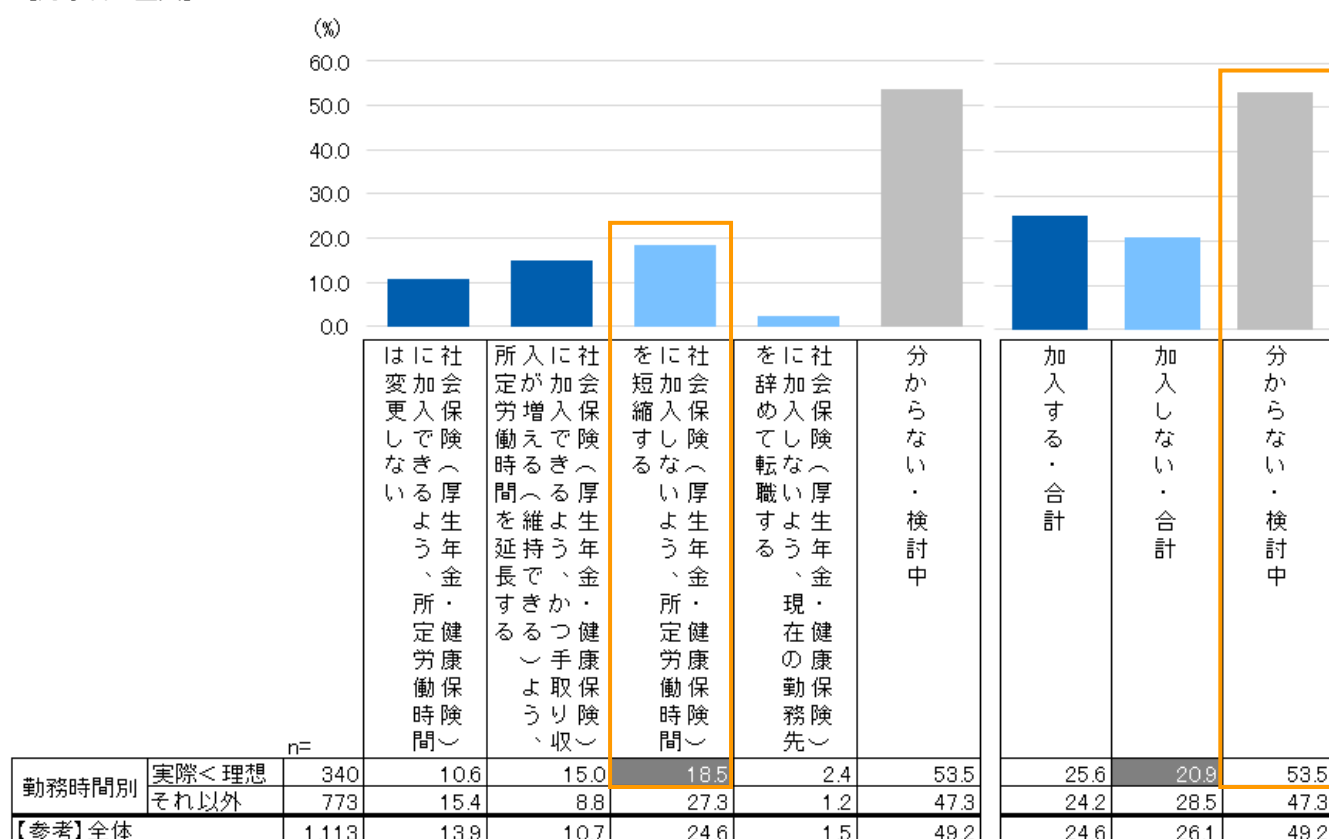


2. もっと働きたい人の社会保険加入意向

- 実際の勤務時間より理想の勤務時間が長い人を「もっと働きたい人」と定義し、「実際<理想」と表記している。「それ以外」は実際の勤務時間と理想の勤務時間が同じ人、理想の勤務時間の方が短い人を表している。
- もっと働きたい人でも、「社会保険に加入しないよう、労働時間を短縮する」と回答した人は18.5%いた。
- もっと働きたい人の中でも53.5%が「分からない・検討中」と回答しており、社会保険加入と理想の働き方で戸惑いや葛藤を抱えている人も少なくない。

Q. 今回の社会保険加入拡大について、あなたの考えに近いものを教えてください。今回、加入拡大の対象でない方も、対象だった場合の考えをお答えください。（単一回答）

【対象者：全員】

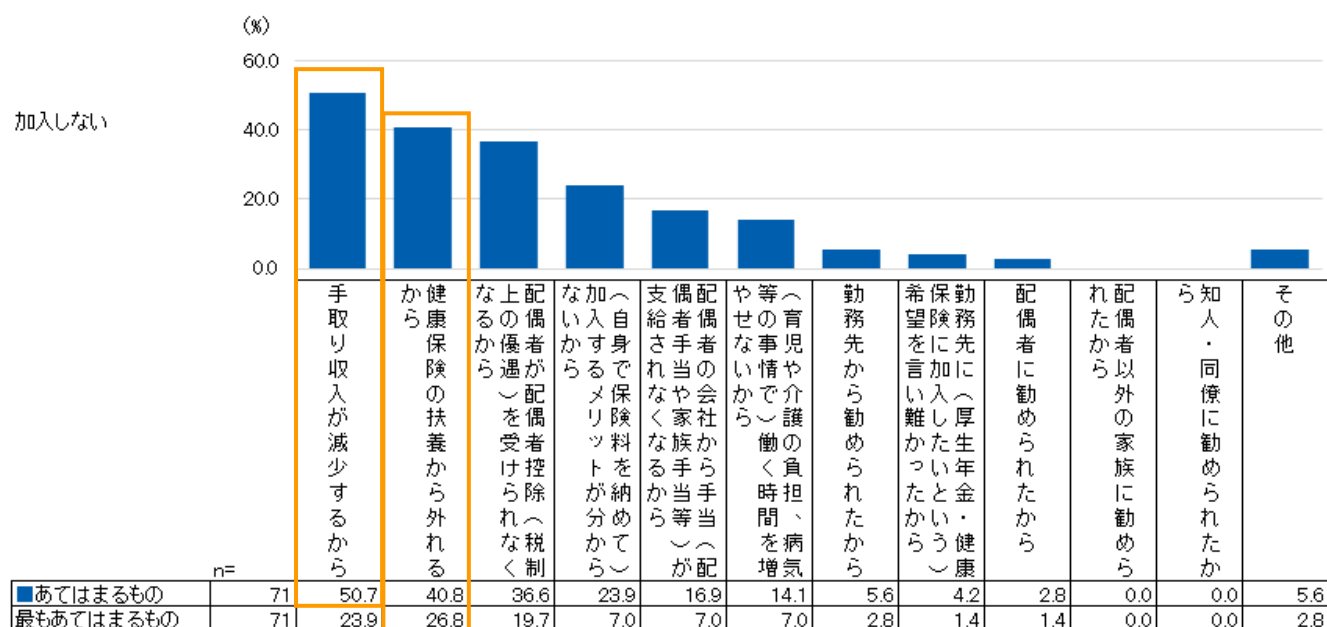
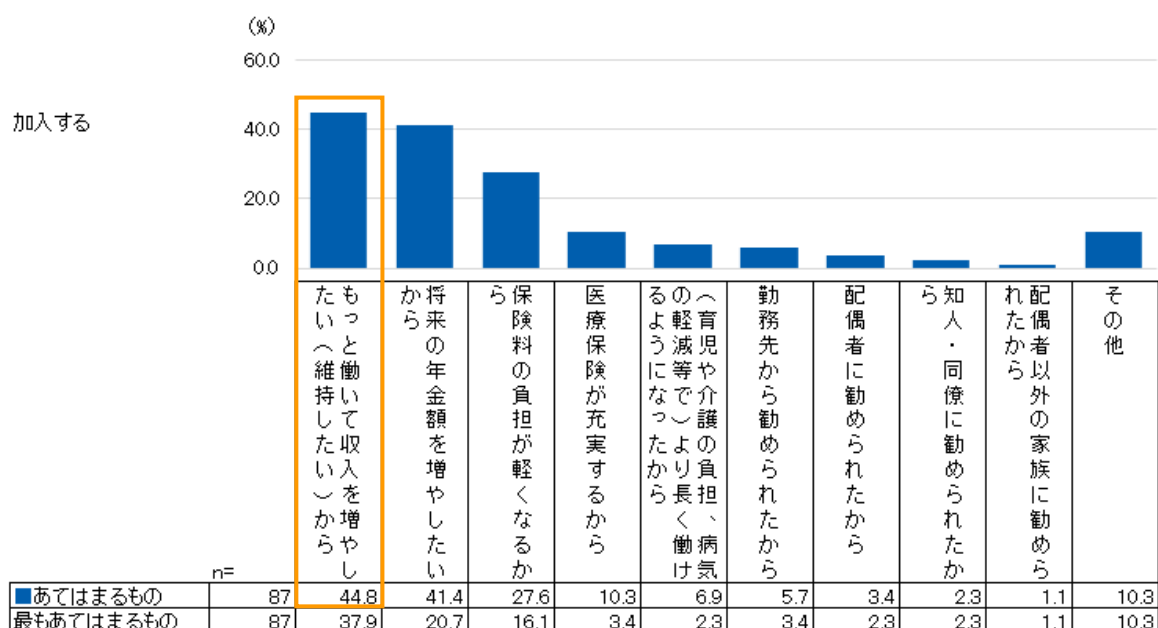


3. もっと働きたい人の社会保険加入意向の理由

- 加入する理由1位は「もっと働いて収入を増やしたい（維持したい）から」44.8%、加入しない理由1位は「手取り収入が減少するから」50.7%であり、全体（P14）と傾向は変わらず。
- 最もあてはまるものでは、加入しない理由1位は「健康保険の扶養から外れるから」26.8%であり、こちらも全体（P14）と傾向は変わらなかった。

Q.社会保険への加入意向の理由についてあてはまるものを教えてください。そのうち最もあてはまるものを1つ選んでください。（複数回答／単一回答）

【対象者：実際の勤務時間より理想の勤務時間が長い人のうち「加入する」「加入しない」のみ抜粋】

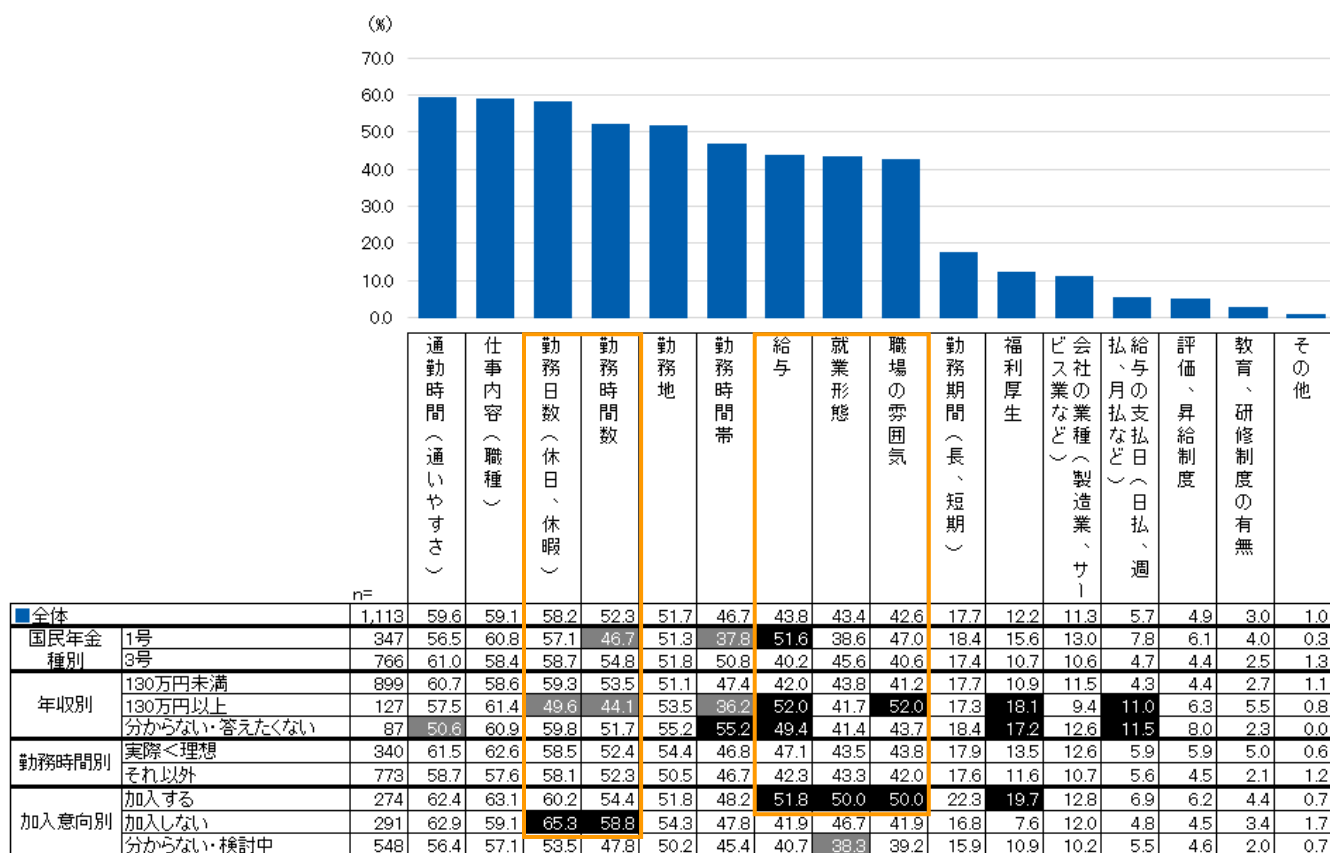


4. 仕事選びの重視点

- 全体では「通勤時間（通いやすさ）」59.6%が最も多く、次いで「仕事内容（職種）」59.1%、「勤務日数（休日、休暇）」58.2%と続いた。
- 社会保険の加入意向別に見ると、加入する人は全体よりも「給与」「就業形態」「職場の雰囲気」を重視する傾向があり、加入しない人は「勤務日数（休日、休暇）」「勤務時間数」を重視する傾向がある。

Q.あなたが仕事を選ぶ上で、重視したものを教えてください。（複数回答）

【対象者：全員】

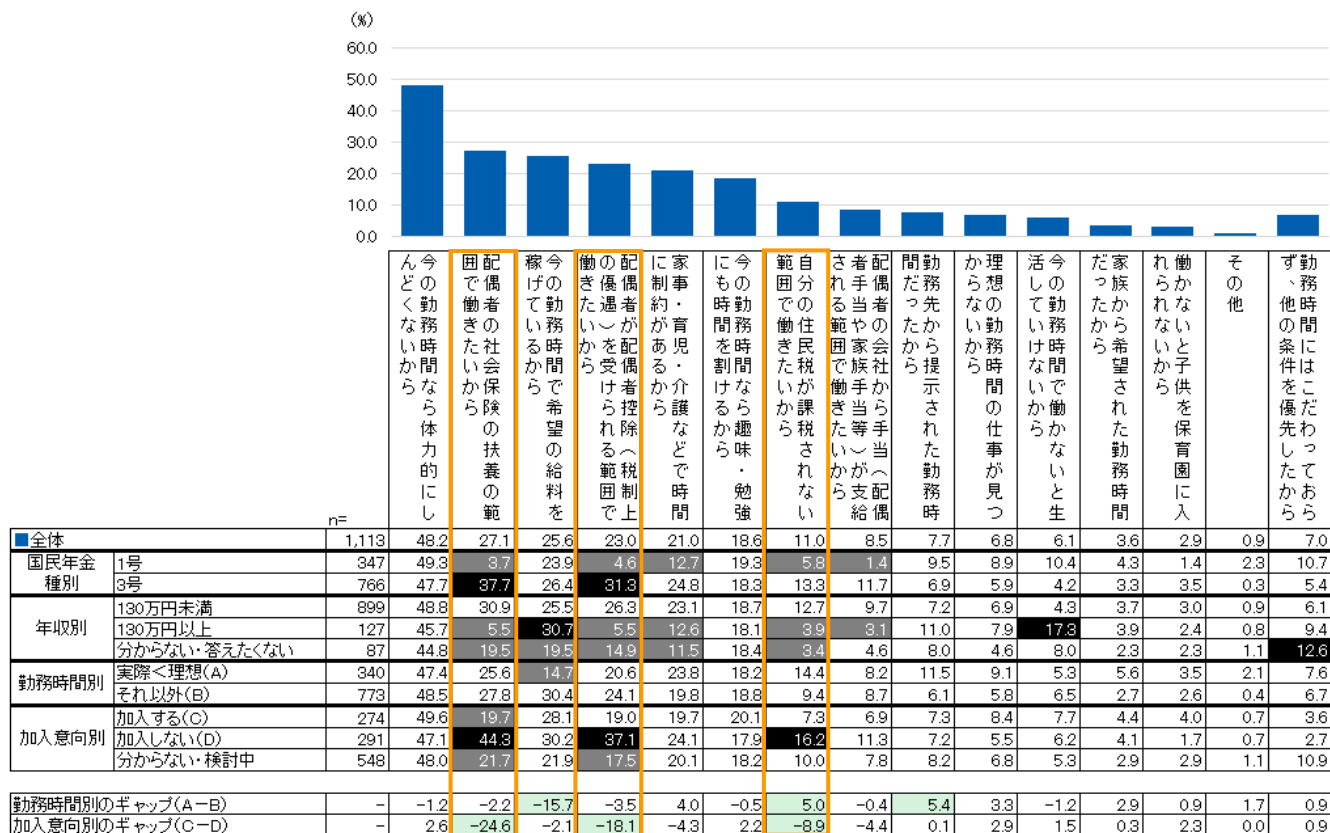


5. 現在の勤務時間を選んでいる理由

- 全体では、「今の勤務時間なら体力的にしんどくないから」48.2%が最も多く、次いで「配偶者の社会保険の扶養の範囲で働きたいから」27.1%、「今の勤務時間で希望の給料を稼げているから」25.6%が続いた。
- 社会保険の加入意向別に見ると、加入しない人は加入する人より「配偶者の社会保険の扶養の範囲で働きたいから」「配偶者が配偶者控除（税制上の優遇）を受けられる範囲で働きたいから」「自分の住民税が課税されない範囲で働きたいから」の割合が多く、税制も含めた現状の制度が女性のもっと働きたいと思う気持ちを抑えてしまうこともあるだろう。
- 勤務時間別に見ると、実際より理想の勤務時間が長い人は、「今の勤務時間で希望の給料を稼げているから」の割合が全体より少ない。これより、実際よりも理想の勤務時間が長い（もっと働きたい）理由として、「もっと稼きたい（給与を上げたい）」ことが理由の一つとして考えられる。

Q.現在の勤務時間を選んでいる理由についてあてはまるものを教えてください。（複数回答）

【対象者：全員】



1. 自己認識と対象可能性の関係性

本パートでは、社会保険の適用対象か否かの回答者本人の自己認識と、適用対象可能性（回答結果による絞り込み）の軸で分析を行った。

自身が対象であると認知しているものの対象可能性が低い（下記②）、自身が対象ではないと認知しているものの対象可能性が高い（下記③、⑤）、という状況が発生していることに留意が必要。従業員規模の回答の際に、会社全体の従業員数ではなく、勤務事業所の従業員数を回答した人が多いと考えられる。

- 従業員規模101人以上、契約勤務時間数20時間以上、税込み年収106万円以上（8.8万円/月×12か月＝105.6万円）と回答した人を、今回の適用拡大の「対象可能性が高い」と定義している。
- 本調査では、「あなたは今回の社会保険加入拡大の対象ですか」と質問をしており、その結果（P8）との関係性は下記。

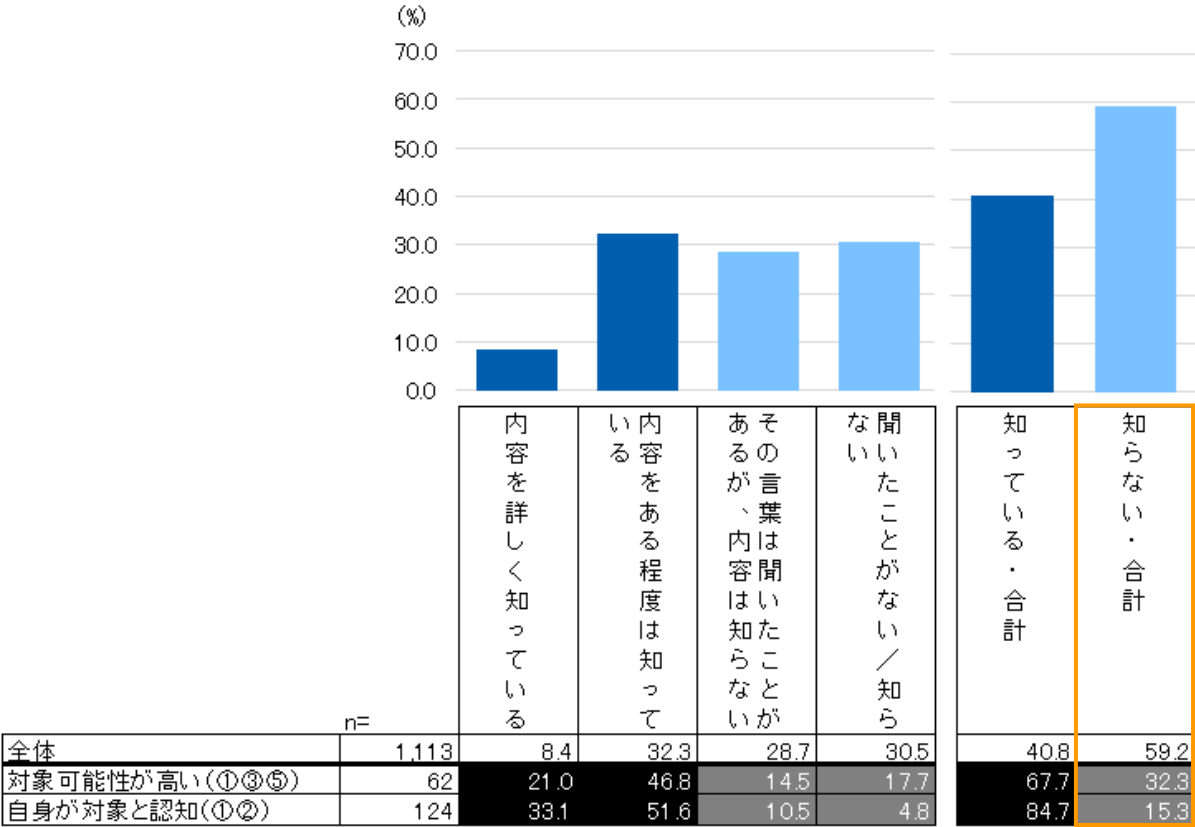
対象可能性 (従業員規模×契約勤務時間×年収で絞り込み)						
自身が対象かどうか (自己認識)	高い			低い		
	n数		回答者全体に 占める割合	n数		回答者全体に 占める割合
	はい	① 32	2.9	② 92	8.3	
	いいえ	③ 7	0.6	④ 404	36.3	
	分からない	⑤ 23	2.1	⑥ 555	49.9	
					回答者全体	1,113

2. 社会保険適用拡大の認知状況

- 対象可能性が高い人、自身が対象と認知している人では、全体よりも「知らない」と回答した割合が少ないが、対象可能性が高い人でも、32.3%が「知らない」と回答している。

Q. 2022年10月に社会保険（厚生年金・健康保険）の加入範囲が拡大されることを知っていますか。（単一回答）

【対象者：全員】



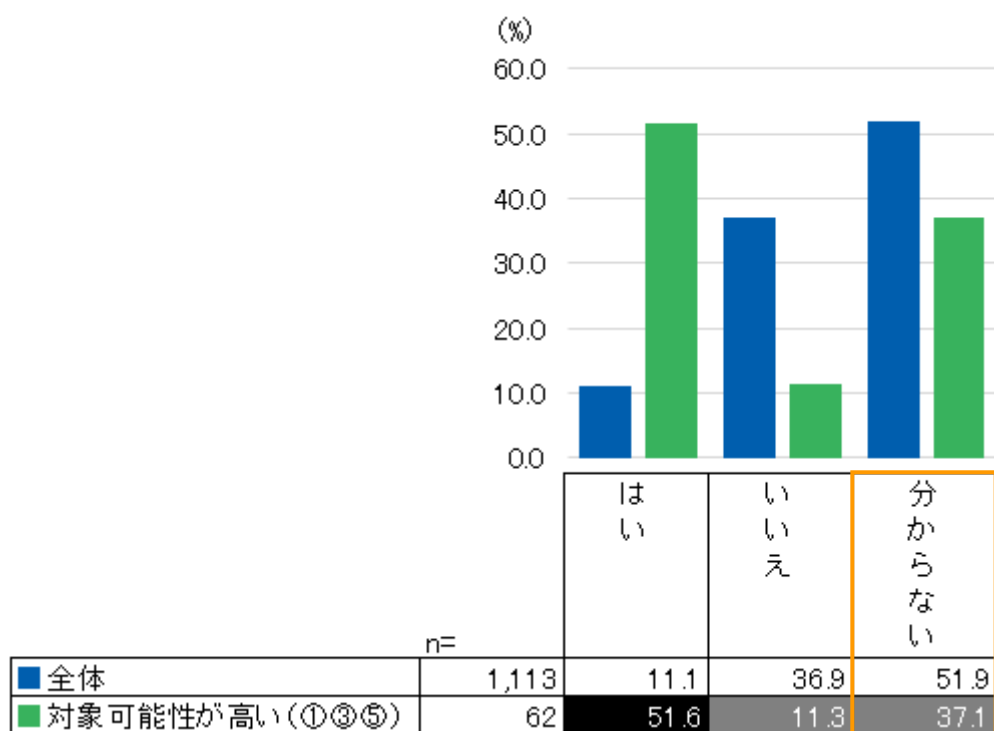
※（ ）内の数字については、P22を参照

3. 自身が適用拡大の対象かの認知

- 自身が社会保険の適用対象かを聞いた結果では、全体の11.1%が「はい」と回答していたが、対象可能性が高い人では51.6%で半数程度が適用対象であることを認識している。
- 対象可能性が高いにもかかわらず、調査時（8月下旬）に37.1%の人が自身が対象か「分からない」と回答している点には懸念が残る。法改正は10月からであったため、調査以降に自身の対象について認知しているケースも考えられるが、今後の働き方について十分に検討する時間を設けられるよう、勤務先からの説明時期には注意したい。

Q.あなたは今回の社会保険加入拡大の対象ですか。（単一回答）

【対象者：全員】



※（ ）内の数字については、P22を参照

4. 勤務先からの説明の方法とその有無

- 対象可能性が高い人・自身が対象と認知している人ともに、全体と比較すると、勤務先から説明を受けている割合が高い。
- 自身が対象であると認知しているにもかかわらず、1つもなかったと回答したのは、「制度の概要・詳細の説明」37.9%、「今後の働き方の意向確認」45.2%であった。

Q. 今回の社会保険加入拡大について、勤務先から説明・意向確認の方法とその有無について教えてください。（単一回答）

【対象者：全員】

(%)

制度の概要・詳細の説明

	n=	会加複 す数 る人 説が 明参			説個 明別 面談、			でラメ 説シ 明配ル 布や 等チ			そ の 他			1 つ で も 「 あ っ た 」 ・ 合 計	1 つ も 「 な か っ た 」 ・ 合 計
		あ っ た	な か っ た	い ま が だ 、 実 施 後 さ れ て 予 い 定 な	あ っ た	な か っ た	い ま が だ 、 実 施 後 さ れ て 予 い 定 な	あ っ た	な か っ た	い ま が だ 、 実 施 後 さ れ て 予 い 定 な	あ っ た	な か っ た	い ま が だ 、 実 施 後 さ れ て 予 い 定 な		
全体	1,113	4.0	86.6	9.3	6.2	86.4	7.4	5.5	88.3	6.2	5.1	88.4	6.5	11.1	77.9
対象可能性が高い(①③⑤)	62	6.5	85.5	8.1	17.7	77.4	4.8	22.6	74.2	3.2	11.3	85.5	3.2	33.9	58.1
自身が対象と認知(①②)	124	17.7	68.5	13.7	30.6	56.5	12.9	25.8	68.5	5.6	22.6	71.8	5.6	49.2	37.9

今後の働き方の意向確認

	n=	個 別 面 談			ア ン ケ ー ト			そ の 他			1 つ で も 「 あ っ た 」 ・ 合 計	1 つ も 「 な か っ た 」 ・ 合 計
		あ っ た	な か っ た	い ま が だ 、 実 施 後 さ れ て 予 い 定 な	あ っ た	な か っ た	い ま が だ 、 実 施 後 さ れ て 予 い 定 な	あ っ た	な か っ た	い ま が だ 、 実 施 後 さ れ て 予 い 定 な		
全体	1,113	6.9	85.3	7.8	5.6	88.1	6.4	6.7	86.2	7.1	11.5	80.6
対象可能性が高い(①③⑤)	62	14.5	75.8	9.7	12.9	83.9	3.2	9.7	85.5	4.8	21.0	74.2
自身が対象と認知(①②)	124	29.0	58.1	12.9	25.8	66.1	8.1	25.0	66.9	8.1	47.6	45.2

※ () 内の数字については、P22を参照

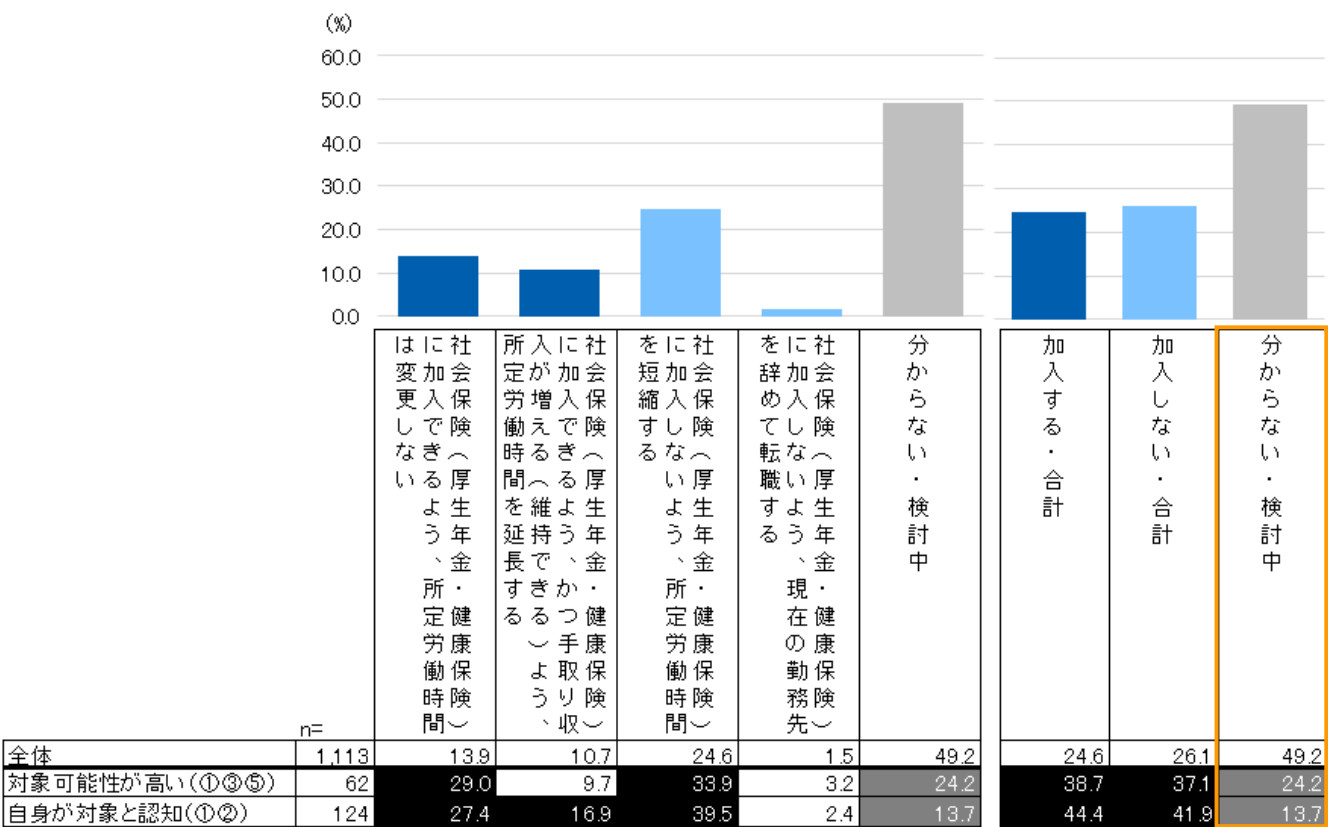
反転シロスキ … 全体の数値より5ポイント以上大きい 灰色シロスキ … 全体の数値より5ポイント以上小さい

5. 社会保険への加入意向

- 対象可能性が高い人・自身が対象と認知している人ともに、全体よりも「分からない・検討中」の割合が減る。前述の通り、勤務先から説明を受けている割合も多く、加入意向を判断する材料を持つことができている可能性が高い。

Q. 今回の社会保険加入拡大について、あなたの考えに近いものを教えてください。今回、加入拡大の対象でない方も、対象だった場合の考えをお答えください。（単一回答）

【対象者：全員】



※（ ）内の数字については、P22を参照

調査を踏まえて

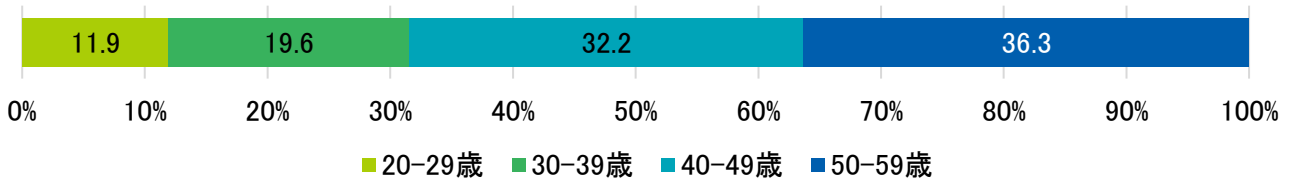
今回の調査では、社会保険に加入することに前向きな人もいる一方で、「手取りを減らしたくない」という理由で加入しない人も一定数いることが分かりました。特に、「もっと働きたい」と考えている人（実際の勤務時間よりも理想の勤務時間の方が長い人）でも、就業調整をする方が存在していることは、労働力不足の日本にとって、また本人のキャリア形成にとっても、非常にもったいない状況です。現在の制度上、就業調整をしながら扶養内で働くことのメリットがあるのも事実です。そのため、社会の制度が女性のもっと働きたいと思う気持ちを抑えてしまうこともあるでしょう。

だからこそ勤務先の皆さまが、現在は短時間勤務となっているものの、「もっと働きたい」と考えている従業員が存在することを踏まえ、今後の働き方について従業員と会話する機会を持つことは大切です。育児・家事・介護の負担により時間制約がある方もいるため、単に勤務時間を増やすという働き方の変化は難しい場合もあるでしょう。勤務時間を増やすだけでなく、「リーダー職に挑戦する」「資格を取得して専門職に就く」など、職域を広げることで、手取りを減らさない・増やすことも検討できないでしょうか。

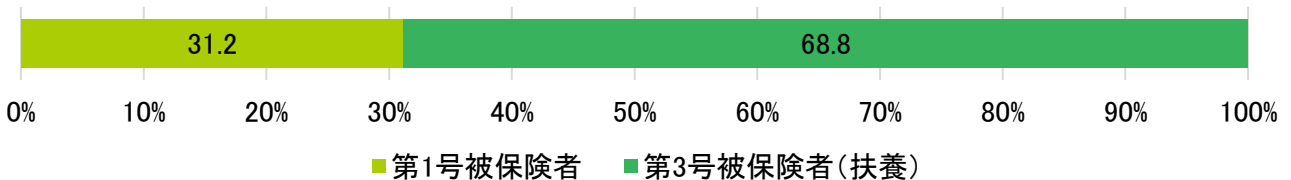
労働力不足はますます進行し、今いる従業員にいかに活躍してもらうかは、企業が避けては通れない課題です。また、社会保険の適用範囲は2年後にさらに拡大します。今回の適用事業所か否かにかかわらず、アルバイト・パートとして働く短時間従業員のキャリアについて、話し合うきっかけとなれば幸いです。

回答者プロフィール

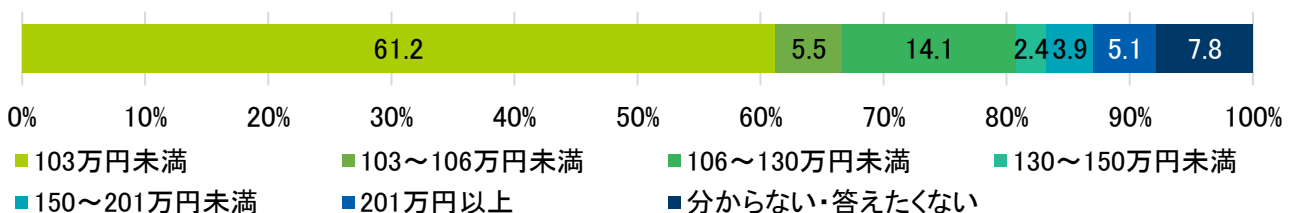
【年齢】



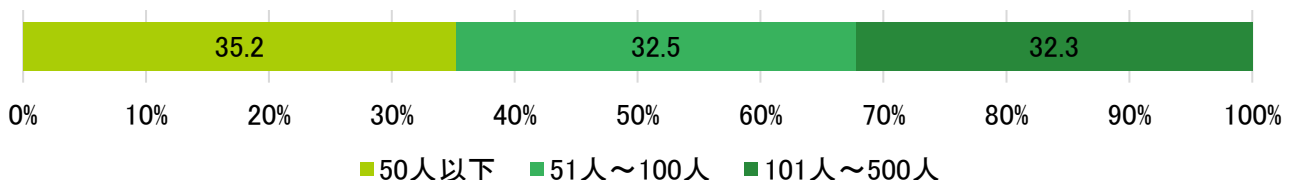
【国民年金の種別】



【税込み年収】



【勤務先の従業員規模】





2022年10月社会保険適用拡大に関する調査
【詳細版】

株式会社リクルート
ジョブズリサーチセンター

